

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年2月21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100105
法人名	有限会社 タンボボ福祉館
事業所名	グループホーム タンボボ福祉館
所在地	鹿児島県鹿児島市春山町1855番7 (電話) 099-278-7110
自己評価作成日	平成23年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年2月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・認知症を理解し、支援していくために職員の質の向上にも努め、利用者が穏やかな生活が送れるよう支援している。
- ・職員が目につきやすく、確認が取れやすいよう、伝達事項や報告・資料等は、一つにまとめた。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市郊外の自然豊かな環境の中に位置し、管理者が地元出身ということもあります。地域での受け入れも良く、外出時の挨拶や老人会によるボランティア受入れなど、住民との交流が日常の中で行われている。

また、同一敷地内に広い芝生と畑を有しており、外出の困難な入居者も芝生での散策を楽しむことができ、希望者は職員と野菜作りを行い、収穫した物を食卓に提供する喜びを味わっている。

職員は理念に基づき、入居者が望むことを最優先に、毎日の介護を実施しており、落ち着いた穏やかな生活を過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	分かりやすい言葉で誰にでも納得してもらえる事業所理念を作り、ホール内の見やすい箇所に貼り日々のケアの中で意識し取り組んでいる。又、ミーティングの時、皆で共有に努めている。	事業所開設2年を経過したので、わかりやすい理念を目標に見直を行った。理念を全員で共有し実践に努めており、特に新任職員へは、理解を深められるよう管理者が指導に努めている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお店に買い物へ行ったり、美容室を利用して気軽に挨拶したり話しをしたりする機会を作っている。	自治会には未加入であるが、管理者が地元出身で日常的に交流している。また運営推進会議の中で地域の行事等の情報を得て、老人会や子ども会・職場体験学習・ボランティアの受け入れなどを行い、交流している。
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域活動が困難になってきたため老人会、子ども会、小学生、中学生の職場体験、ボランティアの受け入れを通じ、地域貢献している。	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、家族、民生委員、地域包括支援センター、職員等の参加で会議を開催し、地域の行事や現状、ホームの行事、サービスの実態や意見や要望に対して検討したり、助言を頂いている。	ホームの運営状況や自己評価・外部評価の結果を報告して、意見・要望や行政・地域の情報を協議し、サービスの向上に活かしている。重度化や終末期への意見が出され、地域医療機関とも協議して、ホームとしての方向性を確立した。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者の関わりについて何らかの疑問点や分からぬことがある場合は、市の担当者に相談し指導、助言を受けている。	介護相談員の受け入れを実施し、市の担当者には、介護保険の区分変更申請の判断や公的な助成制度の利用などについて相談し、指導・助言を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者の行動を制限しないケアに取り組んでいる。又、月1回ミーティングの場で具体的な行為をあげ職員が理解し確認を行っている。	研修等で理解を深めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。交通量の多い道路に面しているため、家族会の同意を得て実施している玄関の施錠について、職員の対応を工夫することで解消できないか検討している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修には全員参加し、該当する行為を見過ごされがちなよう委員会を設置し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	地域包括支援センター主催の研修「成年後見制度」に参加し密接な関係を築いている個々に必要な方には、活用できるよう働きかけたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者が家族と面談し、施設見学をされる時、又、契約を行う時「重要事項説明書」を説明し、理解納得して頂いている。家族会でも折にふれ説明している。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	いつでも誰でも意見や要望、苦情等表出できるよう意見箱の設置、電話での苦情等は記録に残し、問題点はミーティングで話し合う。利用者や家族の面会時話しやすい雰囲気を作り対応している。	玄関に意見箱を設置し、面会時に職員から日常の様子を家族に伝え、話しやすい雰囲気を作るほか、運営推進会議や家族会で意見・要望を聞く機会を設けて、意見や要望を反映するようしている。		
11 7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティングの場で意見や要望、提案を出し個々に応じて対応し反映させている。	ミーティングでのほか、職員から個人的に相談や要望など管理者へ申し出ており、内容は施設長につないでいる。勤務の時間帯については希望に沿った対応をしている。		
12	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務表で勤務状況を把握し、急用、病気の時など管理者や他の職員が出勤し対応している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は個々の職員に必要と思われる研修について参加してもらっている。研修内容はミーティングで報告し復命書に記入している。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	包括支援センターからの同業者による交流会が毎年1～2回あり、管理者、職員が出席し勉強している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて 期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>管理者が面談、相談を行い、その都度施設見学をして頂く。入居できない場合は、他のサービス機関を紹介する。</p>	
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の要望、意見を充分聞き、信頼関係を築く努力をしている。</p>	
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受け必要なサービスを必要な時に利用できるよう、地域のケアマネと連携しながら対応に努めている。</p>	
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の大先輩であることを念頭に置き、日々の生活の中で得意とすることを引き出し、そういう機会を多く作ってあげることで良い関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気になることや状況を毎月1回お便りでお知らせし、面会時には家族の希望や意見を伺う。又、ホームでの様子を見て頂いたり、お知らせして支え合う関係作りを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の老人会やボランティアの方を招いてその中で馴染みの方との触れ合い、交流を深めている。	地区外からの入居者がほとんどであり、馴染みの方の面会等は少ない。また、家族からの外泊希望が少ないとため、親族の集まりの機会などに外出を計画してもらえるよう管理者から働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者自身が回りの方々でのきないこと等知り、お互い助け合いながら支え合っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院にお見舞いに行ったり、以前撮った写真を送付したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日常生活の中で希望、意向を尋ねたり時間を設けて利用者と向き合い聞くようしている。困難な場合は家族と職員が連携し情報を交換しながら検討している。</p>	<p>日常の中で直接本人から希望等の把握に努め、家族の面会時にも情報収集している。困難な場合は、しぐさや表情・生活歴などを総合的にとらえて、本人本位に検討している。</p>
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>基本情報や入居者台帳等を参考に生活環境や生活歴を把握し、又、本人、家族、主治医、ケアマネージャーからの情報収集にも努めている。</p>	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の言動や生活態度、バイタルチェック等で理解するよう努めており、毎日の申し送りの中で情報を共有している。</p>	
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>原則3カ月に1回見直しを行い変化があれば本人、家族と話し合い、その都度見直しを行っている。</p>	<p>毎月各ユニットでケア記録等をもとに検討して、3カ月毎のモニタリングに役立っている。状況変化等の場合は、随時モニタリング・ケア会議を実施し、介護計画を見直している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態変化やケア記録を個別に書き申し送りで情報を共有している。ケアプランを元にし評価に取り組み計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の要望に応じて通院、受診介助や送迎等必要に応じて支援している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の方々には、苦情処理の第三者委員と推進委員になって頂いている。消防署には年2回消防訓練、救命講習等行ってもらっている。小・中学生には職場体験、老人会、商工会婦人部によるボランティア活動を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原則は家族に通院受診して頂いている。場合によっては、受診支援も行き適切に医療を受けられるよう支援している。医療機関により訪問受診も行っている。	家族による受診同行が原則であるが、緊急の場合などは、受診支援をしている。協力医による毎月の訪問診療や緊急受け入れ先の確保などを行い、適切に医療を受けられるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ユニットごとに准看護士を配置しており、協力病院と連携をとりながら健康管理、医療の支援を行っている。	
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者に関する情報を医療機関に提供し、必ず見舞うようにしている。又、医療機関との情報交換も行っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族会や面会時の、ターミナルケアについて説明し、方針を理解、納得して頂いている。 又、職員もミーティングの中で話し合い方針を共有し、共通したケアの考え方をもって支援している。	医療が必要になった場合は、「協力医との連携による居宅療養管理指導を利用する。」との事業所の方針を家族会で説明し、理解を得ている。また、職員も協力医との連携があることで、安心してケアに取り組んでいる。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署を招き意識レベルの確認、心肺蘇生術、誤嚥による窒息の救急法も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て避難訓練、消火器の使い方など定期的に訓練を行っている。	消防署の協力で、昼間・夜間想定での避難訓練や救急法等の研修を実施している。スプリンクラーの設置は完了し、災害時の水等の備蓄をしている。また、近隣住民へは災害時の協力依頼の声かけを実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライドが傷つかないように声かけには十分配慮している。又、入居時には、誓約書を作成し署名、捺印し、個人情報の取り扱いにも気を付けている。	プライドを傷つけないように穏やかな声かけを行い、入室時には必ずドアをノックしている。職員は個人情報の取り扱い、守秘義務についてミーティング等で確認し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員はその人のあるがままを受け入れ、自分の意思で選択し決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所時の家族や本人からの情報等を生かしながら、一人ひとりの声に耳を傾け支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容、美容は近所の店を利用し本人の好みに合わせている。外出時は本人の意向に沿って着替えを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力を生かし調理、配膳、下膳を職員と行っている。又、音楽をかけて落ち着いた雰囲気で食事を楽しむ工夫をしている。	利用者とホームの畠で収穫した野菜を使って食事の下揃えや準備後片付けを共にしている。メニューに利用者の希望や季節毎の行事食を取り入れて、食事を楽しめるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回食事量のチェックと1カ月に1回体重測定を行い栄養状態に関しては、栄養士が定期的にチェックしている。水分も個々に気を付け支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、流水で洗浄している。自立を図るためにも声かけし利用者にあった支援を行っている。夜は義歯洗浄剤にし浸して保存している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の利用者に応じた時間での声かけをし、支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、必要に応じて腹部マッサージや声かけ・誘導を行い、排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事以外でも時間を決め十分な水分を摂ってもらう心がけている。繊維性の食品を取り入れ、適度な運動を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの希望に応じ、利用者に順番を決めて頂き、入浴を楽しんでもらっている。	利用者で話し合いを行い、順番を決めて、入浴している。季節によりみかん湯等の楽しみを工夫し、希望があれば他のユニットでの入浴もできる。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく寝れるよう支援している	日中に十分な活動を行い、就寝前の刺激を避け、良い睡眠ができるよう支援している。又、布団干しを行い気持ちよく寝れるよう配慮している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用薬剤の一覧表を作成し、すべての職員が把握できるようになっている。薬剤の変更があった場合など留意し観察を行っている。飲み間違いないよう一人ひとり手渡しで確認しながら服用させている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	天気の良い日は1日2回の散歩を計画している。天気の悪い日は室内でのレクレーションを取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の希望により玄関の庭で雑談されたり1日2回遠出コースの散歩に行く。	個々の希望によって、朝夕の散歩やホームの畑や芝生での散策をしている。また、近所での買い物の希望があれば出かけられるように支援しており、花見等の外出の機会も設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族、本人の希望で小額持つておられる方もいる。個々の利用者の希望に応じ買い物した場合個別に出納帳に記入し家族には月1回お便りと一緒に報告している。		
50		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	各ユニットに電話を置いてあり利用できるようにしている。手紙を書けない利用者に対しては職員が代筆を行っている。		
51		○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には天窓があり明るさを取り入れ、壁には季節に合わせたカレンダーを作り家庭的な環境を作っている。	玄関には、雛飾りがあり花と共に季節を感じさせる工夫がなされている。食堂は天窓からのやわらかい陽が差込み、あたたかく明るく、落ち着いた雰囲気である。ソファーや畳の間があり、好きな場所でゆっくり過ごせる、居心地のよい共用空間づくりとなっている。	
52	19	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間の一角に畳の部屋がありテレビを見たりパズルをされたりしている。ソファーのある場所では休息できるようになっている。		
53					

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた寝具や日用品、衣類をはじめ家族の写真、仏壇やタンス等を設置し、居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	<p>個々の好みによって、使い慣れた物や写真を飾ったり、仏壇やタンスを置いたりして、居心地のよい部屋となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部はすべてバリアフリーですべての壁に手すりが設置されている。居室の入口には名札や好みの飾りをしたり、洗面所やトイレには矢印をして自立生活を送れるよう工夫している。</p>		

## V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない